

World Vision

この子を救う。未来を救う。

World Vision

この子を救う。未来を救う。

ワールド・ビジョン・ジャパン 2016年度 年次報告書

2015年10月ー 2016年9月



特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
2016年度 年次報告書

2017年3月発行
発行 特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
〒164-0012 東京都中野区本町1-32-2 ハーモニータワー 3F
TEL : 03-5334-5350 (代表) FAX : 03-5334-5359
HP : www.worldvision.jp
郵便振替 00130-6-254059

当団体は認定NPO法人です。皆さまからのご寄付は寄付金控除等の対象となり、税制優遇措置を受けられます。
本書の一部または全部を無断で複写、転載引用することを固く禁じます。

World Vision Japan
Annual Report 2016

ワールド・ビジョン・ジャパンの活動に温かいご支援と深いご理解を賜り、誠にありがとうございます。2016年度も、支援を通して多くの子どもたちの笑顔が生まれたことを、年次報告書を通してご報告できることに感謝申し上げます。

また、国内で従事させていただいた熊本地震の緊急支援では、東日本大震災での経験を活かし地域や企業と連携して活動できたことに、団体としての前進を認識することができました。



柳原寛



ワールド・ビジョン 基本文書 P3
 数字で見るワールド・ビジョン・ジャパン P4
 2016 年度活動マップ P5-6
 チャイルド・スポンサーシップによる支援 (概要) … P7-8
 チャイルド・スポンサーシップによる支援 (成果) … P9-10
 募金や他団体との連携による支援 P11-14
 国内支援 P15

アドボカシー	P16
企業・団体との連携	P17-18
皆さまとともに	P19
2016 年度会計報告	P20-22
2016 年度支援事業一覧	P23-24
ワールド・ビジョンについて	P25-26

これらの活動は、支援の輪に加わってくださった皆さまの「子どもを想う力」、そして、企業をはじめ外務省や国際協力機構（JICA）、世界食糧計画（WFP）等、国連諸機関のご協力の賜物です。ここに、深く感謝いたします。



片山信彦

ワールド・ビジョン基本文書

■ビジョン・ステートメント

私たちのビジョンは、すべての子どもに豊かないのちを
私たちの祈りは、すべての人の心にこのビジョンを実現する意志を
Our vision for every child, life in all its fullness
Our prayer for every heart, the will to make it so

■ミッション・ステートメント

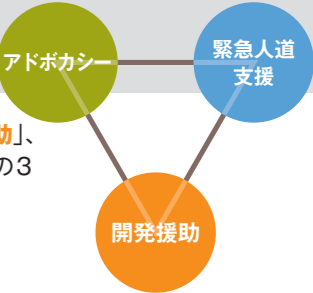
ワールド・ビジョンはキリスト教精神に基づく国際的なパートナーであり、
イエス・キリストにならい、貧しく抑圧された人々とともに働き、
人々の変革と、正義を追求し、平和な社会の実現を目指します。
私たちは、このミッション実現のために、
総合的かつ全体的な方法で、以下の働きを行います。

- ・変革をもたらす開発
- ・緊急人道支援
- ・正義の追求
- ・教会とのパートナーシップ
- ・情報提供
- ・スタッフの生活、行動等を通じたミッション・ステートメントの実践

■基本理念

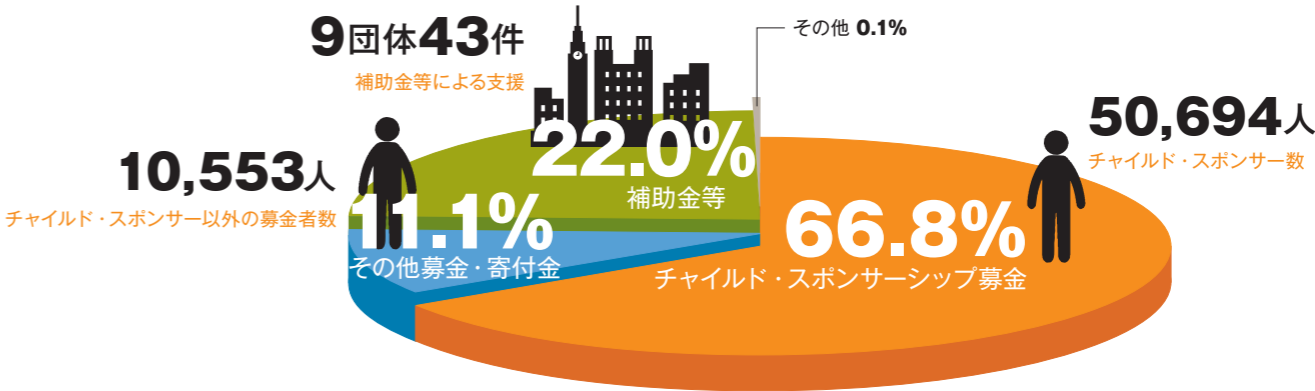
私たちはキリスト教精神に基づいて活動します
私たちは貧しい人々のために献身します
私たちはすべての人を価値あるものとします
私たちは仕えるものです
私たちはパートナーです
私たちはすぐに対応します

数字で見るワールド・ビジョン・ジャパン

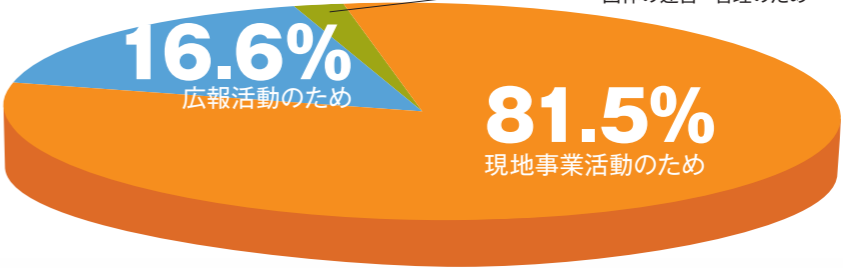


ワールド・ビジョン・ジャパン (WVJ) は、チャイルド・スポンサーシップ等により地域の貧困解決を目指す「**開発援助**」、災害・紛争時の「**緊急人道支援**」、問題解決のためにできることを市民社会や政府に訴える「**アドボカシー**」を活動の3本柱として、世界で活動しています。WVJの2016年度の活動概要を、数字でご報告します。

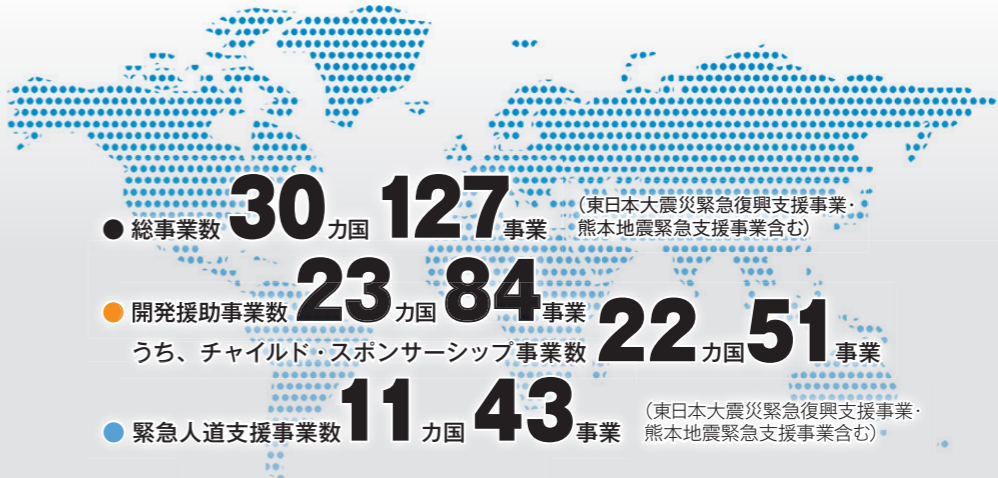
●資金の集め方 経常収益 **48億345万円**
*会計報告はP 20をご覧ください



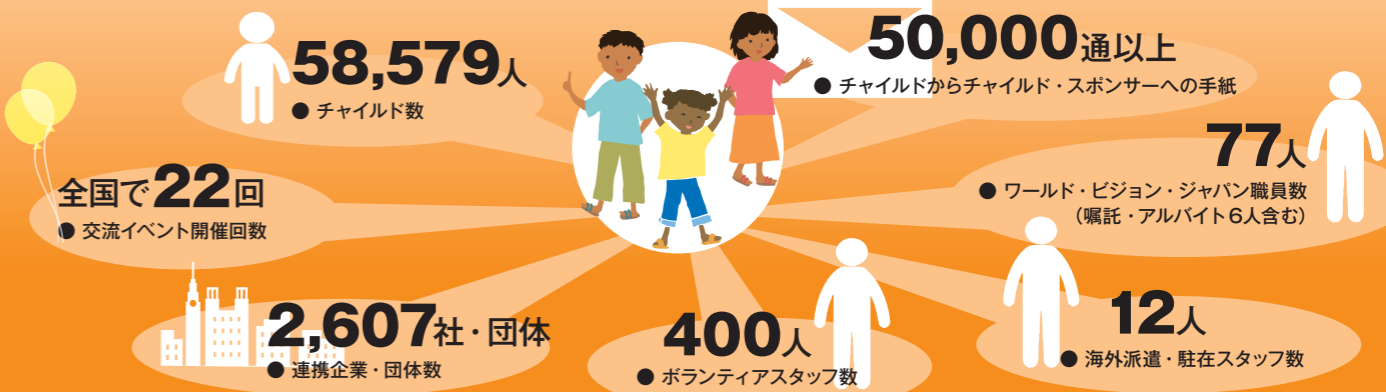
●資金の使い方 経常費用 **46億2,537万円**
*会計報告はP 20をご覧ください



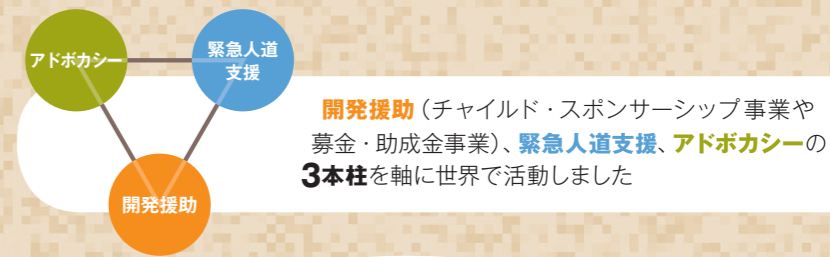
●活動国事業数



●支援を取り巻く数字



ワールド・ビジョン・ジャパンは世界 30 カ国で 127事業を実施しました



緊急人道支援

シリア難民の子どもたちが厳しい冬を健康に過ごせるよう、冬物衣料を届けた岩間スタッフ (緊急人道支援 / ヨルダン)

越冬物資に子どもたちは喜んでます。ありがとう
(保護者の言葉)

緊急人道支援

南スーダン難民の子どもたちと村松スタッフ (中央右)・大井スタッフ (中央左)。学用品を手に喜ぶ子どもたち (緊急人道支援 / エチオピア)

開発援助

小規模農家の生計向上を目指すプロジェクトを通して子どもたちの暮らしの改善を目指す望月スタッフ (募金・助成金事業 / ルワンダ)

開発援助

支援で乳牛を受け取った家庭の子どもたち (チャイルド・スポンサーシップ事業 / タンザニアのゴロワ ADP)

乳牛、ありがとう!

開発援助

チャイルド・スポンサーの皆さん、ありがとう!

支援地域の子どもたち (チャイルド・スポンサーシップ事業 / スリランカのガンガイヘラ・コーラレ ADP)

開発援助

遠くまで水くみに行かなくて良くなった!

新しく建設された井戸を使う子どもたち (募金・助成金事業 / バングラデシュ)

栄養状態がよくなりました!

開発援助

家庭菜園で生活が改善した家族 (チャイルド・スポンサーシップ事業 / ミャンマーのタバウン ADP)

みんなと一緒に勉強できるから宿題が早く終わるよ

国内

仮設住宅での学習支援の様子 (福島子ども支援 / 日本)

開発援助

支援地域の子どもたちと松岡スタッフ (チャイルド・スポンサーシップ事業 / エクアドルのブンガラ ADP)

アドボカシー

伊勢志摩サミットの記者会見で、児童労働廃止を訴える志澤スタッフ (アドボカシー / 日本)

子どもの健やかな成長を実現する、地域とともに歩むプログラム

チャイルド・スポンサーシップによる支援は、1人の子どもだけを対象にしたお金や物の提供ではありません。支援地域の人々が子どもの健やかな成長のために必要な環境を整えていけるよう、水衛生、保健、栄養、教育、生計の改善等の活動を行います。活動の成果を地域の人々自身が将来にわたって維持し、発展させていけるよう、人材や住民組織の育成にも力を入れています。



保健

病気から守ります

地域で保健サービスを提供できる人材を育成します。地域の医療機関と連携して、マラリアや下痢予防、妊産婦ケア等の啓発・トレーニングを行います。



地域のヘルスワーカーは研修の他に、他ワーカーから学んだりチェックリストによる自己評価をしながら、啓発教育の改善に努めています（トアンザオADP/ベトナム）



生計向上

家族の収入を増やします

子どもたちの家族がより安定して収入を得られるように、畜産・農業支援、職業訓練、貯蓄・融資組合の活動支援を行います。



灌がい設備や栽培方法の指導といった支援を受け、この生産者組合はキャベツやトマト等の野菜を栽培し、収入を大幅に向上させることに成功しました（ゴロワADP/タンザニア）



栄養

発育を支えます

子どもたちの栄養状況を定期的にモニタリングし、保護者を対象に、栄養改善につながる啓発・トレーニングを行います。



栄養について学ぶ研修に参加し、栄養価の高い食事の作り方を学んだお母さん。「おかげで私の子どもは体重が増え、順調に成長してくれました。私にとっては最大の喜びです」（クーユADP/マラウイ）



教育

学ぶ環境を整えます

地域のリーダーや保護者を対象に、啓発活動を行って教育の重要性を伝え、子どもたちが教育を受けられるよう働きかけます。また、教育施設・備品の整備や教師へのトレーニングを行います。



「聞いて聞いて！僕、たくさん数字を知ってるよ」支援によって建設された幼稚園で、ワールド・ビジョンのスタッフと触れ合う子どもたち（サンアグスティンADP/エルサルバドル）



水衛生

安全な水が飲めるようになります

安全な水の確保は、子どもたちが病気になることを防ぐために欠かせません。井戸や貯水タンク設置のほか、トイレの整備を行います。



衛生習慣について学び、手洗いを実践する子どもたち（インド/サイダペットADP）

■手紙によるチャイルドとの交流

—支援地域のチャイルドとつながる—

チャイルド・スポンサーになると、支援地域に住む子どもとの手紙のやり取りを通じて、1対1の関係を築くことができます。2016年度は、チャイルドからのグリーティングカード（年末年始のご挨拶）や成長報告のほか、50,000通以上の手紙を、チャイルド・スポンサーにお届けしました。



いつも弟と一緒に返事を書くチャイルド（ベトナム）

■ツアーによる支援地域訪問

—チャイルドに会い、支援の成果を実感する—

2016年3月にスワジランドへのツアーを開催し、20人のチャイルド・スポンサーが参加しました。「チャイルドはおとなしい女の子で、短い時間で打ち解けるのは難しかったですが、子どもたちはみな素直そうで、目は輝き、未来への希望に満ちているように感じました」（アンケートより）



夫婦で参加したチャイルド・スポンサー

■チャイルド・スポンサー募集キャンペーン

—より多くの子どもに支援を届けるために—

2015年11月2日～12月28日まで、「この子を救う。未来を救う。」クリスマスキャンペーンを実施し、新たに2,775人の子どもたちにチャイルド・スポンサーを紹介することができました。映画「デュカリの夢」上映会等を通して、多くの方に世界の子どもの現状をお伝えしました。



東京での映画上映会には、約130人の方がご参加くださいました

22カ国で51事業を実施しました

チャイルド・スポンサーシップは、約15年という長期間にわたり住民とともに活動を進めます。

支援期間は、準備期とそれに続く4段階に分かれ、各段階の目的に応じた活動を行います。

2016年度は、50,694人のチャイルド・スポンサーの皆さまが、58,579人のチャイルドを通して支援活動を支えてくださいました。

子どもたちが学べる環境を整えました



小学校生活をスムーズに始められるよう支援した、就学前教育センターの様子。校舎や備品を整備し、保護者へ教育の大切さを伝える啓発活動も行いました（西ドティADP/ネパール）

家族の健康が守られました



「この山羊は毎日約1リットルのお乳をくれ、家族の健康に役立っています」と語るお父さんとお母さん。子どもたちも毎日元気に学校に通っています（キアムボゴコADP/ケニア）

職業訓練を実施しました



収入向上のため縫製トレーニングに参加する女性たち。現金収入により、病気の時に薬を買ったり、子どもたちの学費を用意することが可能になります（フルバリアADP/バングラデシュ）



栄養に関する知識を共有しました



地元で採れる食材にどのような栄養があるのかを説明する住民。栄養に関するトレーニングを通じて学んだ知識を、住民自身が他の人に共有できるようになりました（コルタADP/エクアドル）

母親学級を開催しました



増築したヘルスセンターで、妊娠中の女性たちに向けた母親学級を開催。母親たちはお産や母乳育児について学び、育児に備えます（リディマリヤッタADP/スリランカ）

水管理委員会が機能しています



1人が独占しない管理体制や修繕費の積み立て等、水管理委員会が機能することで井戸が活用され続けています（デラADP/エチオピア）

子どもの貯蓄グループができました



121の貯蓄貸付グループができ、うち17は子どものグループです。貯蓄や借入、保険の仕組みを学び、実際に貯金もしています（タバウンADP/ミャンマー）

将来への自信と希望へ



未熟児で病弱だったティエン君は、栄養のある食事で健康に育ちました。両親は地域のグループ活動に参加し、将来に希望を見出しています（バンエンADP/ベトナム）

準備期

地域住民や行政関係者との関係構築、支援ニーズ調査、事業計画策定等

第1期

チャイルドの登録、住民組織づくり、地域住民や行政関係者との関係構築、保健衛生・栄養・教育等の啓発活動や基盤整備、収入向上のための研修や機材・資金の提供等

第2期

活動内容の拡大や修正、新たな住民組織づくりや育成、第1期での活動のモニタリングやフォローアップ、地域レベルのアドボカシー（行政への働きかけ）等

第3期

第2期での活動の継続や持続的発展に向けた体制づくり、地域住民の主体性を伸ばす研修、地方行政や現地NGO等との連携強化、財源確保のための働きかけ等

支援卒業準備期
（終了まで3年以内）

該当プログラムなし

【アジア】 トウナ（インドネシア）、トモ・プオ、ボレイ・チュルサル（カンボジア）、ガンガイヘラ・コーラレ*、リディマリヤッタ（スリランカ）、西ドティ（ネパール）、カハロル*（バングラデシュ）、サマール、レイテ（フィリピン）
【中南米】 コルタ（エクアドル）、サンアグスティン、ティエラ・ヌエバ（エルサルバドル）

*ガンガイヘラ・コーラレADPは2016年3月をもって、カハロルADPは2016年6月をもってワールド・ビジョン・ジャパンの支援を終了し、他国のワールド・ビジョンによって支援が引き継がれました。

【アジア】 カンドウクール、キラユ、サイダベット、ブドウコッタイ（インド）、ボニヤー・ルウ（カンボジア）、タブラヤ、トゥンワ（タイ）、ビルゴンジ、ピロル、フルバリア（バングラデシュ）、トアンザオ、チャンエン、ムオンチャ（ベトナム）、タバント、バクサン、バランサイ（ラオス）*、ハイラアスト、バヤン・ウルギー（モンゴル）
【アフリカ】 キルヤンガ、ナラウェヨ・キシータ（ウガンダ）、ゴンダール・ズリア、デラ（エチオピア）、イララマタク、キアムボゴコ（ケニア）、カンボフ、トヨタ（コンゴ民主共和国）、ゲゲ、シェウラ（スワジランド）、ゴロワ、ムキンガ、ムゲラ（タンザニア）、クーユ（マラウイ）、キラムルジ、グウィザ（ルワンダ）
【中南米】 プンガラ（エクアドル）

【アジア】 タバウン（ミャンマー）、カルマカンダ（バングラデシュ）

*ラオス政府からの通達によりラオスのADPの活動は、2016年10月以降、「ラオス地域支援」としての活動に引き継がれました。

【アジア】 バンエン（ベトナム）
【アフリカ】 オレントン（ケニア）

チャイルド・スポンサーシップによる活動（P7-10）に加えて、皆さまからの募金や日本政府からの助成金、他団体との連携による事業を実施しています。チャイルド・スポンサーシップだけでは届けられない支援を行うことで相乗効果による支援の充実を図るほか、紛争・災害の中にある人々や子どもたちに迅速な支援を届けることが可能となります。

母子保健



事業実施国

エチオピア、マラウイ、南スーダン、アフガニスタン、ベトナム

【皆さまからの募金額】

児童保護募金

34,019,433 円

誕生日記念募金

42,130,945 円

プロジェクト・サポーター*

43,601,000 円

【連携機関】

外務省日本 NGO 連携無償資金協力

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム（JPF）

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）

エチオピアからの報告

お母さんと子どもの命を守り育む活動がスタート

【支援の背景：

妊産婦と乳幼児を取り巻く死亡リスク】

エチオピアでは、未だ多くの妊産婦や乳幼児が命を落としており、その死亡率は世界でも最悪の水準にあります。事業地では妊婦の37%が一度も産前検診を受けたことがなく、施設分娩は11.7%にとどまっています。要因として、医療施設へのアクセスの悪さ、施設の未整備、保健スタッフの技術不足、地域住民の意識の低さが挙げられます。



現在の産科棟内部。天井は壊れかけており、安全・衛生的ではありません



産科棟建設予定地の地ならしと基礎作りが進んでいます



保健スタッフへの研修

【支援の成果：保険センターの設備の改善とスタッフ研修を行いました】

3カ年事業の1年目は、保健センターに産科棟やトイレ、井戸の建設を開始し、妊産婦・新生児ケアに必須となる薬品や備品を支援しました。また、保健スタッフ16人に対して、基礎的な緊急産科・新生児ケアに関する研修を行いました。助産師が産前検診や分娩助産の技術を習得し、妊産婦が安心できるサービスを提供できるようになることを目指した結果、研修を受けた助産師は以前よりも適切なケアを行うことができるようになりました。

7月、現地の情勢が不安定になり数カ月間活動を中断せざるをえませんでした。現在は順調に活動できるようになりました。今後、お母さんたちがさらに安心してより安全な場所出産に臨めるよう、現地の関係者とともに事業を進めていきます。

木戸 梨紗（きど りさ）

近年目覚ましい経済成長を遂げるエチオピアですが、村落部では、医療施設は老朽化し、人材も足りず、保健サービスも不十分な状況です。しかし、どんなに貧しいコミュニティの中でも、「困っている人を助けよう。お母さんと赤ちゃんを守ろう」という意識を持つ人がいます。そのような人に会って、「この国の未来は明るいな」と感じます。国内の情勢が安定することを祈りつつ、引き続き、現地スタッフや関係者とともに日々の活動に取り組めます。

担当スタッフ
の声

水・食糧支援



事業実施国

ソマリア、スーダン、南スーダン、ルワンダ、アフガニスタン、イラク、東ティモール、ミャンマー

【皆さまからの募金額】

クリスマス募金

105,086,521 円

ラブ・ローフ募金

3,746,699 円

【連携機関】

外務省日本 NGO 連携無償資金協力

独立行政法人国際協力機構（JICA）草の根技術協力

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）

国連世界食糧計画（WFP）

南スーダンからの報告

命をつなぎ、栄養を補う食糧を届けるために

【支援の背景：内戦がもたらす食糧危機】

長い内戦を経て2011年に独立した南スーダンでは、2013年に内戦が再発し、各地で武力衝突が続いています。その影響は国民生活にもおよび、食糧危機にある人は全人口の約3分の1（360万人）と言われており、特に首都ジュバでは53%の家庭で何も口にできない日があると報告されています。人々は、雑草を食べる等して飢えをしのいでいます。



パウチャーで購入した食糧やミルクで、子どもたちの栄養バランスも改善されました



受け取ったパウチャーを見せたヴェロニカさん



パウチャーで購入した野菜を調理するお母さん



首都ジュバにある国連施設には、3万人以上の国内避難民が暮らしています

【支援の成果：子どもたちに必要な栄養が届いています】

国連世界食糧計画（WFP）と連携し、ジュバの国連施設内に避難している人々を対象に穀物、豆、塩、油等の食糧や、生後5カ月～5歳未満の子どもたちに栄養補助食を届けました。また、新しい取り組みとして、各家庭に必要な食糧を地域の小売店で購入できるパウチャー（金券）を配布し、避難している人々が少しでも豊かな食事ができるよう支援しました。パウチャーを受け取ったヴェロニカさんは、「食糧配布によって必要最低限のものを手に入れることができても、ミルクを買うお金がありませんでした。でもパウチャーのおかげでミルクを買い、子どもにあげることができました」と語ります。各家庭でより多くの食材を食べられるようになり、子どもたちの栄養状態も改善されました。

担当スタッフ
の声

千田 愛子（せんだ あいこ）

私は、前職を含め2013年から南スーダン支援に関わっています。平和な国づくりへの希望に溢れる同僚や南スーダンの人々の想いを肌で感じてきた私にとって、繰り返される武力衝突には本当に心が痛みます。最近日本のニュースでも「南スーダン」という言葉を耳にするようになりましたが、そこに暮らす人々・子どもたちがいることを忘れず、南スーダンの人々が今必要としている支援を届けようと日々業務に取り組んでいます。

食糧の配布量：
2,261.42 トン食糧の受益者：
1,170,732 人キャッシュ（パウチャー含む）の配布額：
584,686 USドルキャッシュ（パウチャー含む）の受益者：
420,549 人

難民支援



事業実施国
エチオピア、南スーダン、ヨルダン

【皆さまからの募金額】

夏期募金

52,549,615 円

難民支援募金

10,952,998 円

シリア難民支援募金

4,481,354 円

【連携機関】

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム (JPF)

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)

エチオピアからの報告

子どもたちが内戦を乗り越え、平和な南スーダンをつくる力を持てるように

【支援の背景：閉ざされる子どもたちの未来】

2013 年 12 月に南スーダンで内戦が再発すると、隣国エチオピアに大量の難民が避難しました。その約 7 割は子どもたち。多くは、戦闘で心身に傷を負い、不自由な生活にストレスを抱えて生活しています。脆弱な環境にある子どもたちは、反政府勢力への勧誘や、性的暴力、犯罪等のリスクにさらされ、将来に希望を持つことができない状態でした。



新しい校舎で学ぶ子どもたち



バレーボールやサッカー等のクラブ活動を実施しています



将来の夢を聞かせてくれたナジヨマさん(左)



難民キャンプの様子

【支援の成果：

学び続けることが、子どもたちの希望になっています】

将来の国づくりに貢献する人材を育てるため、エチオピア西部ガンベラ州にある南スーダン難民キャンプで、子どもたちが安全に、安心して勉強できる環境を整備しました。教員資格を持つ人材の採用・研修、風雨に耐える校舎の整備、放課後のクラブ活動等を実施しました。特にクラブ活動は、子どもたちが直面する危険や課題、ストレス等に対応する力を身につける良い機会になっています。子どもたちの学習意欲は非常に高く、卒業試験の成績は同州の全小学校の中でも 1、2 位を争う良い結果を出すことができました。多くの子どもたちが、祖国に帰るという希望を持ち夢に向かって勉強に励んでいます。生徒の 1 人であるナジヨマさんは、「勉強を続けて看護師になり、将来は人々の命を救いたい」と語ってくれました。

担当スタッフ の声



大井 光一 (おおい こういち)

子どもの就学率を上げるには、コミュニティや男性の行動変容が非常に重要です。女子教育の大切さや教育の必要性をコミュニティに理解してもらうように働きかけることはとても大変でした。しかし、難民キャンプ内で教育の大切さについてキャンペーンをしたり、PTA に働きかけることにより、登録生徒数が飛躍的に増加しました。知識だけでなく、祖国の平和再建に貢献できる社会的スキルや心の強さを養う教育を届けたいと考えています。

授業に参加した子どもの数：4,650 人

整備・建設した学校の数：6 棟 24 教室

研修を受けた教員の数：58 人

設立したクラブの数：18 クラブ

担当スタッフ の声



渡邊 裕子 (わたなべ ひろこ)

故郷を離れて暮らす難民の子どもたちに「学校が楽しい」と感じてもらえるよう、ヨルダン人の同僚と一緒に工夫しながら活動しています。ストレス等の影響で引込み思案になったり乱暴になったりする子どもたちもいますが、先生の励ましを得て友達と協力しながら創作活動やゲームをするうちに、徐々に落ち着きと自信を取り戻しています。異国の地で健気に暮らす子どもたちがいることを、どうか忘れないで欲しいと思っています。

補習授業に参加した子どもの数：1,440 人

補習授業を行う教室を整備した学校の数：6 校

保護者会への出席者数：294 人

補習授業運営のための研修を受けた教員数：69 人

ヨルダンからの報告

難民として生きる子どもの未来を、教育で拓くために

【支援の背景：増える難民、足りない教室】

ヨルダンには約 65 万人のシリア難民が暮らしており、公立学校では児童数の増加に対応するため、朝・昼の二部制を導入し授業時間を短縮していました。しかし学習環境の悪化により、多くの子どもたちが勉強についていけない状況にあり、また、紛争の経験や厳しい避難生活により、不安やストレスを抱えて暮らす子どもも多くいます。



平原に広がる難民キャンプ。キャンプを出て、都市の中で暮らす難民も多くいます



補習授業を受ける子どもたち



レクリエーション活動の様子



「補習授業を受ける前はあんまり成績が良くなかったけど、今はクラスで 2 番か 3 番なの。ヨルダン人のお友達もできたわ」と話すシリア難民のエメットちゃん

【支援の成果：

学習の遅れと心の平安を取り戻しています】

多くの難民が暮らすヨルダン北部の都市イルビドとザルカにて、勉強についていけないシリア難民の子どもと地元ヨルダン人の子どもを対象に、補習授業を実施。「明るい雰囲気です」先生が丁寧に質問に答えてくれる」「勉強が好きになった」という子どもたちの声があり、少人数制でフレンドリーな指導が子どもたちの成績向上につながりました。

また、日々抱えている不安やストレスを和らげるため、授業後に図画工作やスポーツ等のレクリエーション活動を行いました。シリア難民とヨルダン人の子どもは、普段は別の時間帯に学校に通うためお互いを知らない機会が少ないですが、夏休みには合同でレクリエーション活動を行い、国籍の違いを超えて交流することができました。

海外だけでなく日本の子どもたちのためにも活動しました

熊本地震 緊急支援

―被災者、特に子どもたちの日常を回復することを目指して―

地震発生3日後に現地入りし、活動を開始。被災者のニーズに沿うこと、行政の手が届かないニーズに対応すること、子どもに寄り添うことを目指し、以下3つの柱のもと活動しました。9月30日までの活動期間中、のべ16,435人に支援を届けました。

1

物資支援

現地のニーズを確認しながら、飲料、衛生用品、毛布、バスタオル、高齢者用長ズボン等を、熊本市や益城町の避難所に配布。のべ4,636人に物資を届けました。



益城町総合体育館に開設した子どものための「プレイルーム」

2

子ども支援

益城町総合体育館の避難所運営を委託された熊本YMCAとともに、子どもたちが自由に集い、安心して遊べる場所を共同運営し、利用者はのべ2,330人にのびりました。

また、学校再開のための給食支援を実施。子どもたちに少しでも栄養価の高い食事を届け、給食を楽しみにしてもらえるよう、給食費用の一部を支援しました。さらに、教育現場に不足していた備品を配布する等、9,009人に支援を届けました。



給食支援を実施した益城町の小学校にて。給食再開当日には、「みんなで食べられて嬉しい。おいしく感じた」「新学年のスタートだなと思った」という声が聞かれました

3

教会を通じた支援

九州キリスト災害支援センターの協力団体として、その活動拠点にスタッフを派遣。病院での炊き出しや、子どもの日イベントの運営をサポートする等、460人に支援を届けました。

福島子ども支援

―今も残る東日本大震災の爪あとを軽減するために―

東日本大震災から5年以上が経過した今も、長引く避難生活や震災の直接的・間接的な影響による家庭の生活基盤の変化など、厳しい環境に置かれている子どもたちがいます。東日本大震災緊急復興支援事業の資金を用いて2016年4月に開始した「福島子ども支援事業」では、現地のNPO法人ピースふくしまとの協働により、子どもの家庭訪問支援や学習・居場所の支援、また地域での支援体制作り等に取り組んでいます。



株式会社チュチュアンナ様のご協力を得て開催したイベント「くつしたデザイナーになってみよう!」。「とっても楽しかったです。デザイナーもいい職業だと思いました」等の感想が寄せられました

子どもを取り巻く問題の根本解決を目指し、世界のワールド・ビジョンや市民社会と連携しました

政策提言

―子どもを中心に据えた政策をG7諸国へ訴えました―

2016年5月に三重県で開催されたG7伊勢志摩サミットに際し、他国のワールド・ビジョンと協働し政策提言を行いました。提言では、「保健」「食料安全保障と栄養」「シリア危機」「責任あるサプライチェーン」の各課題を取り上げ、最も弱い立場にある子どもたちに焦点を当てた合意と明確な意思表示を行うよう、各国首脳に向けて訴えました。



伊勢志摩サミットでは、ワールド・ビジョンの代表として5名のスタッフが政策提言を行いました。日本からは、事務局長の片山（中央）、柴田スタッフ（右端）、志澤スタッフ（左端）が出席

他NGOやネットワークとの連携

―市民の声を伊勢志摩サミットにつなぎました―

「2016年G7サミット市民社会プラットフォーム」の主要メンバーとして、G7伊勢志摩サミットに向けて世界各国の市民社会（非営利の市民社会組織）と連携して活動しました。2016年1月にローマで開催されたNGOによる国際戦略会議や、3月に京都で開催された「G7市民社会対話」にて、世界の市民社会と協働して提言をまとめ、主要7カ国の政府関係者に直接伝えました。



世界各国から70以上のNGOが参加した「G7市民社会対話」の様子。ノーベル平和賞受賞団体チュニジア人権擁護連盟のゼディニ氏（右から2人目）も参加した分科会で、議論をまとめる柴田スタッフ（中央）。

国会議員との協働

―栄養改善の国家戦略策定を政府に求めています―

2015年の国際母子栄養改善議員連盟の設立以来、国会議員や国際機関・省庁・NGO・企業・学識者等と連携して、母子の栄養改善の重要性を訴えてきました。2016年には、栄養改善国家戦略の策定と栄養改善に対する資金拠出の拡大を求め、連携団体と協働で国家戦略の骨子案を作成するなど、幅広い政策に栄養改善の視点を組み入れるよう働きかけを行っています。



第4回国際母子栄養改善議員連盟の開会式の様子

企業・団体との連携

■ 企業との連携

—1,484 社から、総額 217,789,877 円のご支援をお寄せいただきました—

企業の皆さまから、チャイルド・スポンサーシップ、学校や診療所建設等の特別プロジェクトによるご支援、商品売り上げからの寄付、社員募金と企業のマッチング募金、広報連携・協力、ボランティアへのご協力等、様々なご支援・ご協力をいただきました。また、熊本地震緊急支援や福島子ども支援など、日本の子どもたちのための活動にもご支援をいただきました。

■ 2016 年度ご支援事例紹介（一部）

特別プロジェクトによるご支援



SHIONOGI



Mother to Mother
SHIONOGI Project

塩野義製薬株式会社

シオノギ製薬グループが販売する総合ビタミン剤「ボボンS」シリーズで日本のお母さんの健康を応援しながら、その売り上げと社員の皆さまからの寄付により、ケニアでの母子保健プロジェクトを支援いただく「Mother to Mother SHIONOGI Project」。事業 1 年目の 2016 年度は、診療所の建設を進め、外来棟が開所しました。さらに、日本でのプレスセミナー開催や、TICAD VI ジャパンフェアへのブース出展など、広報活動でも連携しました。



診療所外来棟開所式に参加された塩野義製薬株式会社の皆さま（前列）、ゲストの皆さまと WVJ スタッフ

診療所外来棟開所式に参加された塩野義製薬株式会社の皆さま（前列）、ゲストの皆さまと WVJ スタッフ



tutu anna

株式会社チュチュアンナ

チャイルド・スポンサーシップを通して 25 名のチャイルドを支えていただくとともに、緊急援助募金、教育、保健、水衛生分野の特別プロジェクトをご支援いただいています。2016 年度には、ご支援により、ネパールの山岳地帯で学ぶ女子生徒のための寄宿舎が完成しました。また、新たに、日本国内での福島子ども支援事業をご支援いただき、イベントも共催しました。



ご支援いただいた寄宿舎で生活する女子生徒たち

チャイルド・スポンサーシップを通して



UCHIYAMA HOLDINGS
ウチヤマホールディングス グループ
東証 一部 上場 (証券コード: 6059)

株式会社ウチヤマホールディングス

全国で運営されている高齢者介護施設 1 か所につき 1 人のチャイルドをご支援いただいております。現在、52 名のチャイルドをご支援いただいております。チャイルド・スポンサーシップへのご支援に加えて、2016 年 4 月に発生した熊本地震に際しては、物流が混乱する中で、支援物資の調達・搬送を担ってくださり、強力なパートナーとして震災直後の支援活動を支援してくださいました。



介護施設職員の皆さまと、施設としてご支援くださっているチャイルドの写真と手紙



セブン&アイ HLDGS.

セブン&アイ アベスコ基金

「セブン&アイ アベスコ基金」は、株式会社セブン&アイ・ホールディングス傘下の株式会社イトーヨーカ堂が飲料メーカー等と共同で国際人道支援活動等に取り組む団体を支援することを目的に設立した基金です。チャイルド・スポンサーシップを通して、20 名の子どもたちをご支援くださっています。2016 年度は社内で映画「デュカリの夢」上映会の企画・実施をし、30 名以上の参加者が支援について理解を深めることができました。



映画「デュカリの夢」ポスター

商品・サービスの売り上げからの寄付



若尾製菓株式会社
Wakao confectionary Co.LTD

ジースプレッド株式会社 若尾製菓株式会社

チャイルド・スポンサーシップを通したご支援に加え、全国で販売されている「しあわせのカルテットクランチ」の売り上げ、および、支援の輪を広げるために設立されたジースプレッド株式会社のお菓子「Happy Gift」「やさしさセット」の売り上げからの寄付により、アジア・アフリカでの学校建設をご支援くださっています。2016 年度には、ミャンマーに続き、2 校目となるバングラデシュの学校が完成しました。



新校舎の完成を喜ぶバングラデシュの子どもたち



ICEFIELD
カナダ生まれの、天然氷河水。

株式会社 NGW ジャパン

カナダ生まれのミネラルウォーター「アイスフィールド」の売り上げからの寄付により、途上国のお母さんと赤ちゃんの命を守る活動を支援する「児童保護募金」のためにご寄付をくださっています。また、新たに、安全な飲料水を子どもたちに提供するための特別プロジェクトのご支援も始めてくださり、アフリカのスワジランドで事業がスタートしています。



児童保護募金を通して、母子保健事業をご支援いただいています

■ ご支援・ご協力をいただいた企業（一部）



ヤマザキ

山崎製パン株式会社



TAMANOHADA

玉の肌石鹸株式会社



住友化学

住友化学株式会社



東芝プラントシステム株式会社

東芝プラントシステム株式会社



三菱製鋼株式会社

三菱製鋼株式会社



TAISEI

株式会社タイセイ



PRECO

株式会社プレコフーズ



三菱自動車 STEP 募金

三菱自動車 STEP 募金



NTT DATA
Global IT Innovator

株式会社 NTT データ



えがお

株式会社えがお



LaQ
Innovative and Creative

ヨシリツ株式会社



FUJITSU

株式会社 FUJITSU ユニバーシティ



pal*system
バルシステム東京

生活協同組合バルシステム東京



EPOS CARD

株式会社エポスカード



SKISUI

積水化学工業株式会社



東京西川

西川産業株式会社



hite 通商

ヒロセ通商株式会社



YAHOO! JAPAN ネット募金

ヤフー株式会社

アキバ食品機械株式会社
株式会社インプレッサリオ
株式会社 isis ホールディングス
MS&AD ゆにぞんスマイルクラブ
株式会社興誠商事

株式会社基住
キャリアインキュベーション株式会社
ジョンソン・エンド・ジョンソン社会貢献委員会
株式会社シンシア
株式会社ニッシンインクス

公益財団法人日本手芸普及協会
株式会社ブルマーレ
三菱商事株式会社
株式会社レントラックス

■ 各種団体との連携（一部）

—1,123 団体から、総額 82,182,310 円のご支援をお寄せいただきました—

ウェスレアン・ホーリネス教団 淀橋教会
神の家族キリスト教会クリスチャンウェイ
学校法人共栄学園春日部共栄中学高等学校
グレースコミュニティ
気仙沼漁業協同組合
医療法人社団スマイルこどもクリニック
医療法人すみれ おおくぼ歯科クリニック
学校法人捜真学院捜真小学校

学校法人玉川聖学院玉川聖学院中部・高等部
日本イエス・キリスト教団 荻窪栄光教会
日本ホーリネス教団 池の上キリスト教会 坂戸キリスト教会
学校法人梅光学院中学校・高等学校・大学
公益財団法人毎日新聞東京社会事業団
山下湘南夢クリニック



皆さまとともに

多くの方が様々な形で、支援の輪に加わってくださいました

■ グローバル教育

—5,543人の子どもたちや若者が参加しました—

日本の子どもたちや若者が世界に目を向ける機会となるよう、派遣授業を47件、事務所訪問の受け入れを21件、小学生対象「サマースクール」、中高生対象「ユースプログラム」を実施し、多くの方にご参加いただきました。また、外務省より2016年度NGO相談員業務の委託を受け、NGOに関して皆さまから寄せられる質問・相談にお答えし、教育機関等への「出張サービス」を実施しました。



ユースプログラムで「人身取引」について学ぶ中高生の皆さん

■ ボランティア

—400人の皆さまが、活動を支援してくださいました—

新たに62人がボランティアに加わってくださいました。事務所では1日10～15人の皆さまが、データ入力、発送事務、動画編集、翻訳等、幅広い業務を担ってくださいました。一方、在宅ボランティアとしても、日本各地で、そして海外でも翻訳業務にご協力いただきました。学生や企業の皆さま等、多くの方にご参加いただいています。



チャイルド・スポンサーに届けられるチャイルドの手紙や成長報告、事務所からの各種ご案内等が、ボランティアの皆さまの手によって準備されます。チャイルドの手紙は、年間50,000通以上にもなります

■ 交流会・イベント

—13都道府県で開催、のべ1,152人が参加—

支援地での活動報告や参加者同士の交流の場となる「WV（ワールド・ビジョン）カフェ」、チャイルド・スポンサーシップの仕組みを詳しくご紹介する「国際協力講座～途上国の子どもの支援を知ろう」、ドキュメンタリー映画「デュカリの夢」上映会等のイベントを、全国13都道府県で計22回開催し、のべ1,152人がご参加くださいました。



福岡で開催したWVカフェの様子

2016 年度 会計報告

正味財産増減の状況 2015年10月1日より2016年9月30日まで（単位：千円）

I . 一般正味財産増減

経常収益			
1 受取寄付金	受取スポンサーシップ募金	3,209,202	
	受取その他募金・寄付金（1）	535,068	3,744,270
2 受取補助金等（2）	政府系機関からの受取補助金等	133,918	
	民間団体からの受取助成金等	454,389	
	国連機関からの受取委託金等	468,589	1,056,896
3 受取会費			610
4 基本財産運用益・特定資産運用益・雑収益			1,673
経常収益合計（A）			4,803,449

経常費用			
1 事業費	地域開発援助事業費	3,736,194	
	地域開発援助・委託援助事業費（※）	3,566,618	
	地域開発援助事業管理費（5）	169,576	
	人材派遣費（3）	31,675	
	啓発教育費	769,770	
	各種啓発教育費（4）	429,049	
	啓発教育事業管理費（5）	340,721	4,537,639
2 管理費（5）			87,731
経常費用合計（B）			4,625,370

経常外収益			
1 固定資産売却益			12
経常外収益合計（C）			12

経常外費用			
1 固定資産売却損・除却損			15
経常外費用合計（D）			15

当期一般正味財産増減額（A+C）-（B+D）			178,076
一般正味財産期首残高			1,157,456
一般正味財産期末残高（E）			1,335,532

II . 指定正味財産増減

当期指定正味財産増減額			27,346
指定正味財産期首残高			51,272
指定正味財産期末残高（6）（F）			78,618

III . 正味財産期末残高			
正味財産期末残高（※※）（E）+（F）			1,414,150

上記会計報告に含まれる東日本大震災緊急復興支援事業にかかる
正味財産増減の状況 2015年10月1日より2016年9月30日まで（単位：千円）

I . 一般正味財産増減

経常収益		
1 受取寄付金	受取その他募金・寄付金（日本国内より）	0
2 一般会計からの繰入金収入		5,179
経常収益合計（a）		5,179

経常費用		
1 事業費	地域開発援助事業費	6,776
	地域開発援助事業費	3,110
	地域開発援助事業管理費（5）	3,666
	啓発教育費	0
	各種啓発教育費（4）	0
	啓発教育事業管理費	0
2 管理費		0
経常費用合計（b）		6,776

当期一般正味財産増減額（a）-（b）		-1,597
一般正味財産期首残高		20,328
一般正味財産期末残高（c）		18,731

II . 指定正味財産増減		
当期指定正味財産増減額		0
指定正味財産期首残高		0
指定正味財産期末残高（d）		0

III . 正味財産期末残高		
正味財産期末残高（c）+（d）		18,731

資産・負債の状況 2016年9月30日現在（単位：千円）

I . 資産の部

1 流動資産		903,013
	現金預金	841,793
	前払金	59,654
	立替金	445
	未収金	967
	仮払金	154
2 固定資産		725,984
	基本財産	50,000
	特定資産（6）	597,475
	補助金・助成金引当資産	78,618
	地域開発援助事業引当資産	425,000
	その他特定資産	93,857
	その他固定資産（7）	78,509
資産合計		1,628,997

II . 負債の部

1 流動負債		120,990
	未払金	97,363
	預り金	1,696
	賞与引当金	21,861
	未払法人税等	70
2 固定負債		93,857
	退職給付引当金	93,857
負債合計		214,847

III . 正味財産の部

1 指定正味財産		78,618
	（うち特定資産（6）への充当額）	（78,618）
2 一般正味財産		1,335,532
	（うち基本財産への充当額）	（50,000）
	（うち特定資産（6）への充当額）	（425,000）

正味財産合計		1,414,150
負債及び正味財産合計		1,628,997

※地域開発援助・委託援助事業費の内訳（アドボカシー費949千円除く）については、P23-24の支援事業一覧をご覧ください。
※※正味財産の内訳は、資産・負債の部の状況のIII.正味財産の部を参照ください。

（1）～（7）については、次ページからの「会計報告の注記」を参照ください。

特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンは2016年度財務諸表等（2015年10月1日より2016年9月30日まで）について、以下の監査を受けています。

2016年11月11日 石川康彦公認会計士事務所による監査
2016年11月30日 監事による監査

【数字で見るワールド・ビジョン・ジャパン（P4）について】

●「資金の集め方」は、上記会計報告の「経常収益合計（A）」を100%とし、各項目には以下の科目を含みます。
チャイルド・スポンサーシップ募金：「受取スポンサーシップ募金」
その他募金・寄付金：「受取その他募金・寄付金」
補助金等：「受取補助金等」
その他：「受取会費」「基本財産運用益・特定資産運用益・雑収益」

●「資金の使い方」は、上記会計報告の「経常費用合計（B）」を100%とし、各項目には以下の科目を含みます。
現地事業活動のため：「地域開発援助事業費」「人材派遣費」
広報活動のため：「啓発教育費」
団体の運営・管理のため：「管理費」

会計報告の注記

●重要な会計方針の要約

- 1) 財務諸表の作成基準：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパンは「公益法人会計基準」(公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ 平成16年10月14日)に基づいて会計処理および財務諸表の作成を行っています。
- 2) 固定資産の減価償却について：定額法による減価償却を実施し、償却額控除後の価額を表示しています。
- 3) 引当金の計上基準：
賞与引当金：職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上しています。
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務および年金資産に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上しています。
- 4) 消費税等の会計処理：消費税等の会計処理は、税込み経理方式によっています。

(1) 受取その他募金・寄付金の内訳 (単位：千円)

児童保護募金	76,150
うち誕生日記念募金	42,131
ラブ・ロープ募金	26,172
うちラブ・ロープ募金	3,747
うちヤマザキ『ラブ・ロープ』募金	22,425
緊急援助募金	57,393
うち熊本地震緊急支援募金	42,455
うちシリア難民支援募金	4,481
クリスマス募金	105,086
夏期募金	52,550
難民支援募金	10,953
プロジェクト・サポーター	43,601
特別プロジェクト募金	85,490
物資の受入	6,821
うち熊本地震のための物資の受入	5,200
その他の募金・寄付金	70,852
受取その他募金・寄付金合計	535,068

(2) 受取補助金等の内訳 (単位：千円)

政府系機関からの受取補助金等	133,918
外務省日本NGO連携無償資金協力	97,399
ベトナム/ディエンビエン省における妊産婦・新生児の健康改善事業(第3期)	20,243
東ティモール/ボボナロ県における水・衛生環境改善事業 第3年次	17,657
マラウイ/ンチシ県母子保健関連施設整備事業 1年次	- 582
マラウイ/ンチシ県母子保健関連施設整備事業 3年次	4,289
エチオピア/アムハラ州妊産婦・新生児の健康改善事業	38,965
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途35,317千円保有しています。)	
バングラデシュ/シレット県ゴワインガット郡 コミュニティと取り組む水・衛生環境改善事業	16,827
(当該事業に関しては、指定正味財産・特定資産として別途43,301千円保有しています。)	
外務省NGO海外スタディ・プログラム(平成27年度)	773
外務省NGO相談員制度(平成28年度)	1,595
独立行政法人国際協力機構 草の根技術協力事業	17,624
スリランカ国キリノッチ県における小規模畜産農家の家畜生産性向上プロジェクト	9,250
ルワンダ共和国東部州における小規模生産者グループの経済活動及びマネジメント向上支援プロジェクト	8,374
デンマーク国際開発庁(DANIDA)	16,527
ソマリア干ばつからの回復プロジェクト	16,527
民間団体からの受取助成金等	454,389
特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム	453,627
南スーダン/アッバーナイル州マニョ郡における帰還民、社会的弱者および帰還先コミュニティ支援事業Ⅲ	- 2,309
南スーダン/タンブラ郡教育システムにおけるレジリエンス強化事業1	132,732
アフガニスタン/ヘラート州及び周辺地域における保健・医療従事者養成のための環境整備事業	- 37
アフガニスタン/ヘラート州及び周辺地域における保健・医療従事者養成のための環境整備事業2	- 39
アフガニスタン/ヘラート州及び周辺地域における保健・医療従事者養成のための環境整備事業3	- 3,340
ヨルダン/シリア難民およびヨルダン人の子どもたちへの教育支援事業2	- 4,848
ヨルダン/シリア難民およびヨルダン人の子どもたちへの教育支援事業3	102,045
エチオピア南スーダン難民キャンプでの緊急時における教育・子どもの保護事業	- 3
エチオピア南スーダン難民キャンプでの緊急時における教育事業2	- 5,205
エチオピア南スーダン難民キャンプでの教育環境整備事業 (フェーズ3)	- 7,648
エチオピア南スーダン難民キャンプでの教育環境整備事業 (フェーズ4)	80,373
エチオピア南スーダン難民キャンプでの教育・水衛生環境整備事業	161,906
味の素「食と健康」国際協力ネットワーク	762
バングラデシュ、フルバリヤ郡、栄養改善プロジェクト	762
国際機関からの受取委託金等	468,589
国連児童基金 (UNICEF)	30,884
国連世界食糧計画 (WFP)	306,214
うち、受取委託物品	203,350
国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)	103,988
世界基金 (Global Fund)	27,503
受取補助金等合計	1,056,896
マイナス表記となっている収入は、昨年度以前に受け取った補助金等を精算した際の返金額です。	

(3) 人材派遣費

人材派遣費とは、地域開発援助事業等の事前調査・視察・調整のための短期調整員・駐在員・海外契約スタッフ・外部専門家派遣に関わる費用です。

(4) 各種啓発教育費の内訳 (単位：千円)

	啓発教育費合計	うち東日本分
広告費	342,024	0
各種広告費	306,396	
パンフレット等印刷費・通信運搬費他	35,628	
広報費	3,332	0
年次報告書(2015年度版制作・発送費等	2,402	
団体ホームページ制作費等	13,679	
その他の広報活動費	7251	
ニュースレター制作・発送費等	22,182	0
チャイルド・スポンサーおよび寄付者への連絡物制作・発送費等	35,264	0
その他啓発費等	6,247	0
グローバル教育活動・学校訪問等の費用	855	
ラブ・ロープ募金箱の製作・運搬費等	1,774	
活動報告会	1,209	
その他の啓発活動費	2,409	
各種啓発教育費合計	429,049	0

(5) 事業管理費等の内訳、および集計 (単位：千円)

事務局の運営に関わる事業管理費等は、以下の3つの科目に分けて計上しています。

地域開発援助事業管理費(以下、地開管理費)：地域開発援助事業に直接かかわる国内管理費
啓発教育事業管理費(以下、啓発管理費)：啓発教育事業に直接かかわる国内管理費
管理費 (以下、管理費)：その他一般の国内管理費

各管理費の内訳、および内訳ごとの集計は以下の通りです。

	事業管理費等合計	地開管理費	うち東日本分	啓発管理費	管理費
人件費等	369,803	122,478	2,583	183,574	63,751
会議費	4,625	1,833	85	1,034	1,758
旅費交通費	16,069	5,373	141	8,257	2,439
賃借料	63,810	20,939	536	32,774	10,097
支払手数料	80,879	159	5	79,369	1,351
その他の管理費	62,842	18,794	316	35,713	8,335
合計	598,028	169,576	3,666	340,721	87,731

人 件 費 等：職員等の給与手当、法定福利費等。 なお2016年9月30日現在、職員71名、嘱託・アルバイト6名が在職
会 議 費：ワールド・ビジョン・パートナーシップ内等の国際会議出席のための渡航費用、その他国内会議費用
旅費交通費：職員の通勤費、事務ボランティアの方の事務所までの交通費等
賃 借 料：事務所家賃
支払手数料：入金にかかる口座引落およびクレジット決済等の手数料、銀行・郵便局等金融機関の振込手数料等

(6) 特定資産の内訳 (単位：千円)

補助金・助成金引当資産(指定正味財産)の内訳	
NGO連携無償助成金エチオピア事業分	35,317
NGO連携無償助成金バングラデシュ事業分	43,301
補助金・助成金引当資産合計	78,618

当年度までに受領した上記事業にかかる補助金のうち、2017年度以降に支出を予定している金額です。

地域開発援助事業引当資産の内訳	
スポンサーシップ地域開発援助事業引当資産(7)	235,000
一般募金による地域開発援助事業引当資産(1)	180,000
緊急援助事業引当資産(7)	10,000
地域開発援助事業引当資産合計	425,000

(7) チャイルド・スポンサーシップによる事業(以下SP事業とする)に使途を特定した資産であり、2017年度以降のSP事業、為替相場変動によるSP事業への影響回避のための準備金、SP事業における緊急事態(緊急医療・自然災害・火災等)対応への準備金として、支出を予定しています。
(1) SP事業以外の地域開発援助事業(緊急・復興支援事業含む)に使途を特定した資産であり、2017年度以降に支出を予定しています。
(7) 大規模な自然災害や紛争の発生時の、初動の緊急支援活動のための準備金です。

その他特定資産の内訳	
退職給付引当資産	93,857
その他特定資産合計	93,857

(7) その他の固定資産の内訳 (単位：千円)

建物附属設備	9,142
什器備品	9,157
ソフトウェア	20,536
電話加入権	373
敷金	39,301
その他の固定資産合計	78,509

(8) 保証債務等

当団体は保証債務等の責は一切負っておりません。

(9) 為替レートについて

ワールド・ビジョン・パートナーシップでは、現地の地域開発援助事業等は米ドルにて予算管理を行っており、為替予約等によって、為替相場の変動による事業への影響をできるだけ抑えるよう努めています。
2016年度(2015年10月1日～2016年9月30日)の地域開発援助事業費の総平均レートは、1米ドル=110.66円でした。

監査と情報公開

ワールド・ビジョン・ジャパンでは、会計および業務全体に関して2名の監事による内部監査とともに、外部の独立した公認会計士に依頼して会計監査を受けています。
その会計報告の概要は、年次報告書やホームページで公開しています。また、特定非営利活動法人および認定NPO法人としての事業報告書等を、所轄庁である東京都に提出し、情報公開を行っています。
ワールド・ビジョン全体としては、内部に監査機関を設置し、各国のすべての事務所が最低でも3～5年に一度、事務所全体の業務監査と会計監査を受けることになっています。もし監査の過程で疑義等が発生した場合は、その都度適切な対応を行います。



2016年度 支援事業一覧

国名	プロジェクト名	チャイルド・スポンサー シップによる支援額	その他募金による支援額	助成金・委託金による 支援額	合計	受益者数（人）	支援 チャイルド数（人）		
海外支援									
東 ア ジ ア	カンボジア	ボニヤー・ルウ地域開発プログラム	24,011,960			24,011,960	20,000	1,200	
		トモ・ブオ地域開発プログラム	28,306,822			28,306,822	8,015	1,500	
		ボレイ・チュルサル地域開発プログラム	31,909,470			31,909,470	27,106	1,500	
	ラオス	バランサイ地域開発プログラム	35,859,925			35,859,925	10,000	1,700	
		タバント地域開発プログラム	29,339,938			29,339,938	12,000	1,500	
		バクサン地域開発プログラム	30,737,077			30,737,077	12,000	1,500	
	モンゴル	ハイラアスト地域開発プログラム	49,302,930			49,302,930	52,442	2,500	
		バヤン・ウルギー地域開発プログラム	52,565,334			52,565,334	18,000	2,500	
	ミャンマー	障がいを持つ子どもたちのためのサポート・センター設立支援事業		2,783,322		2,783,322	700		
		タバウン地域開発プログラム	31,805,478			31,805,478	30,000	1,700	
		タバウン郡区における洪水被害を受けた子どもへの緊急教育支援事業		2,082,012	23,319,255	D	25,401,267	7,700	
		洪水被災地支援事業		537,269	28,194,953	C			
		※エーヤワディー管区タバウン郡 & キャンキン郡、マグウェ管区ビンピュー郡			2,999,693	物	31,731,915	9,266	
		洪水被災地支援事業 ※エーヤワディー管区タバウン郡区		164,369			164,369	4,626	
		サイクロン・コメン緊急洪水復興事業※チン州アラム郡		1,516,691	9,181,486	C	20,731,674	3,237	
					10,033,497	物			
		サイクロン・コメン緊急洪水救援事業 ※ラカイン州ミャウータンシップおよびチャウトワンシップ		2,511,345	9,869,507	C	12,380,852	2,200	
		カチン州における IDP への食糧支援事業 ※カチン州ウェインモーおよびチブウェタワンシップ			142,724	C	142,724	8,235	
	タイ	カチン州における IDP への食糧支援事業			476,462	C			
		※カチン州ウェインモーおよびチブウェタワンシップ（上記継続事業）			11,807,922	物	12,284,384	8,122	
		トゥンワ地域開発プログラム	23,888,682			23,888,682	14,500	1,300	
		タブラヤ地域開発プログラム	20,248,885			20,248,885	36,285	1,200	
		メコン低大地域における人身取引地域プロジェクト	26,494,594			26,494,594	80,000		
		バンエン地域開発プログラム	31,550,597			31,550,597	12,000	1,400	
		チャンエン地域開発プログラム	27,913,869			27,913,869	18,000	1,400	
		ムオンチャ地域開発プログラム	26,336,360			26,336,360	11,000	1,500	
トアンザオ地域開発プログラム		27,613,512			27,613,512	13,900	1,500		
ベトナム		ベトナム社会主義共和国子どもたちへの手編みセーター等配布事業		217,406					
			1,836,162	物		2,053,568	4,314		
	モーバビ小学校ケホップ分校教室建設支援事業		1,098,645			1,098,645	580		
	ミンアン村幼稚園建設支援事業		2,929,611			2,929,611	350		
	チャンエン ADP 保健プロジェクト		39,558			39,558			
	トゥルンディン幼稚園建設支援事業		2,563,396			2,563,396	323		
	ディエンビン省における妊産婦・新生児の健康改善事業（第3期）		2,330,270	15,567,285	A	17,897,555	8,375		
バングラデシュ	カルマガンダ地域開発プログラム	45,356,311			45,356,311	57,300	1,500		
	フルバリア地域開発プログラム	64,800,993			64,800,993	165,301	3,500		
	ピロル地域開発プログラム	55,404,870			55,404,870	138,822	3,000		
	ピルゴンジ地域開発プログラム	48,600,744			48,600,744	73,600	3,000		
	カハルル地域開発プログラム	50,530,222			50,530,222	41,217	1,000		
	バングラデシュ、フルバリア郡、栄養改善プロジェクト			554,842	J	554,842	15,937		
	シレット県ゴワインガット郡 コミュニティと取り組む水・衛生環境改善事業		4,705,205	14,212,858	A	18,918,063	90,000		
インド	バングラデシュ人民共和国シブプール・ボードハット小学校建設支援事業		3,670,917		3,670,917	11,337			
	サイタベット地域開発プログラム	30,857,725			30,857,725	42,000	1,400		
	キラム地域開発プログラム	31,513,450			31,513,450	40,000	1,700		
	ブドゥコッタイ地域開発プログラム	33,171,827			33,171,827	40,000	1,800		
	カンドゥクール地域開発プログラム	13,982,247			13,982,247	35,903	650		
	インド洪水緊急支援		482,150		482,150	19 世帯			
	インド干ばつ緊急支援		796,425		796,425	400 世帯			
	インド国 水道システム整備支援事業		3,506,547		3,506,547	3,000			
	インド共和国 マンダル・ブラジャ・ハルシェット小学校整備支援事業		2,197,181		2,197,181	450			
	インド共和国 校舎修復支援事業		2,123,981		2,123,981	1,926			
インドネシア	インド共和国 小学校での井戸整備支援事業		1,391,661		1,391,661	448			
	トウナ地域開発プログラム	16,494,360			16,494,360	36,279	750		
	ネパール	33,580,559			33,580,559	15,811	1,000		
	ドティ郡学校・コミュニティ防災にかかる調査事業		213,132		213,132				
	東ティモール	ボボナロ県における水・衛生環境改善事業 第3年次		8,456,838	16,491,959	A	24,948,797	1,800	
	レイテ地域開発プログラム	32,873,990			32,873,990	3,095	1,000		
	フィリピン	サマルル地域開発プログラム	39,448,654			39,448,654	34,959	1,000	
	フィリピン共和国 ダンピガン中学・高等学校建設支援事業		3,659,959		3,659,959	1,700			
	スリランカ	ガンガ・イヘラ・コーラレ地域開発プログラム	26,083,452			26,083,452	10,031	1,000	
		リディマリヤッタ地域開発プログラム	18,628,532			18,628,532	31,503	750	
スリランカ民主社会主義共和国/バドゥラ・ティサプラ小学校建設支援事業			3,659,959		3,659,959	14,082			
スリランカ国キリンッチ県における小規模畜産生産者の家畜生産性向上プロジェクト			- 618,577	2,504,098	H	1,885,521	10,030		
エチオピア	ゴンドール・スリア地域開発プログラム	59,646,367			59,646,367	115,000	3,100		
	デラ地域開発プログラム	59,646,368			59,646,368	100,000	3,000		
	エチオピア南スーダン難民キャンプでの教育環境整備事業（フェーズ3）		2,590,116	21,658,991	B	24,249,107	5,181		
	エチオピア南スーダン難民キャンプでの教育環境整備事業（フェーズ4）		9,462,133	73,451,614	B	82,913,747	4,650		
	エチオピア南スーダン難民キャンプでの教育・水衛生環境整備事業		2,645,937	29,645,520	B	32,291,457	91,984		
	アムハラ州妊産婦・新生児の健康改善事業		9,068,278	34,039,671	A	43,107,949	90,000		
	エチオピアのドロア州難民キャンプにおける代替基礎教育（ABE）・成人識字（FAL）事業		4,588,427	12,196,800	F	16,785,227	3,500		
	オレントン地域開発プログラム	24,122,525			24,122,525	20,414	1,000		
	イラマタク地域開発プログラム	41,914,198			41,914,198	15,000	1,700		
	ケニア	キアムボコ地域開発プログラム	30,806,880			30,806,880	21,712	1,700	
ケニア	ケニア（アフリカ）／水供給および衛生状態改善支援事業		10,233,529		10,233,529	5,400			
	Mother to Mother プロジェクト（シオノギ製品で日本の母を元気にしながら、ケニアの母も健康に！）によるケニア共和国における母子保健支援事業		16,436,940		16,436,940	14,612			
	オレントン地域ムルア小学校女子寮建設支援事業		187,710		187,710	2,802			
	キラムルジ地域開発プログラム	62,677,011			62,677,011	21,674	3,500		
	グワイザ地域開発プログラム	57,098,751			57,098,751	28,903	3,000		
	子どもの栄養改善支援事業		1,346,624		1,346,624	3,500			
	ルワンダ共和国東部州における小規模生産者グループの経済活動及びマネジメント向上支援プロジェクト		14,599,740	20,465,790	H	35,065,530	1,600		

国名		プロジェクト名	チャイルド・スポンサー シップによる支援額	その他募金による支援額	助成金・委託金による 支援額	合計	受益者数（人）	支援 チャイルド数（人）		
東 ア フリ カ	ソマリア	ソマリア干ばつからの回復プロジェクト（Danida 事業）			16,526,761	I	16,526,761	420,000		
		ソマリアにおけるコミュニティのレジリエンス強化、食糧および栄養改善支援事業		8,339,775	8,699,797	C	43,773,131	29,628		
		HIV/AIDS 予防対策及び感染者ケア統合型事業			26,733,559	物	7,564,804	381,111		
		ソマリアの脆弱な世帯に対する栄養食糧支援事業		1,617,504	577,781	C	13,189,277	68,002		
		ソマリアにおける脆弱なコミュニティのレジリエンス強化事業		1,258,850	1,107,073	物	2,365,923	61,437		
	南スーダン	西エクアトリア州教育支援事業		12,835,210	101,943,242	B	114,778,452	54,000		
		タンブラ郡教育システムにおけるレジリエンス強化事業1		6,183,734	22,149,087	B	28,332,821	54,000		
		西エクアトリア州コンゴ共和国難民・中央アフリカ共和国難民人道支援事業（第7期）		19,176,430	43,261,624	F	62,438,054	9,322		
		南スーダン・アッパナイル緊急食糧支援プログラム		2,365,276	4,447,031	C	75,854,770	305,740		
		南スーダン緊急食糧支援プログラム ※西エクアトリア州マリディ、イバ、ヤンビオ、ンザラ、エゾ、タンブラ、ナゲロ			156,957	C	1,901,409	12,198		
		南スーダン緊急食糧支援プログラム ※北バ/ハル・アル・ガザール州			262,552	C	8,083,112	95,559		
		南スーダン・ジュバPoC緊急食糧支援プログラム ※中央エクアトリア州ジュバ		25,203	7,820,560	物	25,203	115,430		
		南スーダン・ジュバPoC緊急食糧支援プログラム			223,478	C	3,045,470	20,400		
		※中央エクアトリア州ジュバ（上記継続事業）			2,821,992	物				
		南スーダン・ジュバPoC緊急食糧支援プログラム		1,095,796	1,055,628	C	13,557,898	21,500		
		※中央エクアトリア州ジュバ（上記継続事業）			11,406,474	物				
		南スーダン・ワラップ州受益者参加型食糧支援プログラム			319,058	C	3,278,599	36,456		
		南スーダン・ワラップ州緊急食糧支援および栄養改善プログラム			2,959,541	物				
		南スーダン・ワラップ州緊急食糧支援および栄養改善プログラム			586,123	C	6,922,545	128,564		
		南スーダン・ワラップ州緊急食糧支援および栄養改善プログラム			6,336,422	物				
	スーダン	南ダルフルル食糧援助プログラム		1,095,796	642,380	C	16,879,207	92,025		
		南ダルフルル州国内避難民キャンプとその周辺における食糧配布事業		1,110,480	471,070	C	17,221,067	168,797		
		南ダルフルル州における学校給食事業			15,639,517	物				
		南ダルフルル州における学校給食事業		712,267	1,512,335	物	2,224,602	94,106		
	タンザニア	ムゲラ地域開発援助プログラム	45,522,433				45,522,433	38,809	2,800	
		コロワ地域開発援助プログラム	52,966,833				52,966,833	37,446	2,000	
ムキンガ地域開発プログラム		56,331,805				56,331,805	106,837	2,000		
ウガンダ	ナラウェヨ・キシータ地域開発プログラム	35,577,428				35,577,428	34,000	1,600		
	キルヤンガ地域開発プログラム	42,559,512				42,559,512	40,000	2,200		
南 ア フリ カ	コンゴ民主共和国	トヨタ地域開発プログラム	66,242,841				66,242,841	58,080	3,200	
		カンボバ地域開発プログラム	56,779,547				56,779,547	31,679	3,000	
		シンダノ小学校建設支援事業		1,464,860			1,464,860	224		
		コンゴ民主共和国カンガ州における HIV/AIDS 対策事業			4,912,191	E/G	4,912,191	42,362		
		コンゴ民主共和国カンガ州と赤道州におけるマラリア対策事業			22,590,062	E/G	22,590,062	100,000		
	マラウイ	ムワンゾ小学校支援事業		5,265,629			5,265,629	284		
		クエ地域開発プログラム	64,878,356				64,878,356	18,926	3,300	
		ンチシ県母子保健関連施設整備事業 3 年次		2,925,298		111,066	A	3,036,364	10,702	
		シェウラ地域開発プログラム	64,577,122				64,577,122	15,000	3,000	
		ゲゲ地域開発プログラム	41,886,582				41,886,582	21,000	2,300	
中 南 米	エクアドル	コルタ地域開発プログラム	40,816,209				40,816,209	10,303	1,900	
		ブンガラ地域開発プログラム	34,999,944				34,999,944	7,000	1,700	
		エクアドル地震被災者支援		1,494,775			1,494,775	50,000		
	エルサルバドル	ティエラ・ヌエバ地域開発プログラム	28,114,838				28,114,838	5,500	1,700	
		サンアグスティン地域開発プログラム	36,671,470				36,671,470	4,500	1,800	
		サンアグスティン幼稚園教室増設および小中学校校舎修復支援事業		2,197,181			2,197,181	893		
東 欧 ・ 中 東	アフガニスタン	フランシスコ・アントニオ・リマ小中学校施設改善支援事業		3,662,041			3,662,041	327		
		ヘラート州及び周辺地域における保健・医療従事者養成のための環境整備事業 3		2,116,704		9,700,713	B	11,817,417	60,395	
		バグス州における教育のための食糧事業				1,375,008	C			
		バグス州における教育のための食糧事業				5,249,570	物	6,624,578	23,234	
		ストリートチルドレンクリニックにおける子どもの衛生促進事業		70,569			70,569	7,800		
	イラク	クルド人自治区における緊急食糧支援		1,894,850		36,106,397	C	38,001,247	258,051	
		クルド人自治区におけるシリア難民に対する現金給付支援事業		1,700,895			1,700,895	32,795		
		クルド人自治区における国内避難民（IDP）に対する現金給付支援事業		712,267			712,267	115,000		
	ヨルダン	シリア難民およびヨルダン人の子どもたちへの教育支援事業2		6,322,206		33,788,191	B	40,110,397	1,300	
		シリア難民およびヨルダン人の子どもたちへの教育支援事業3		7,979,450		54,653,977	B	62,633,427	1,240	
チャイルド・スポンサーシップ特別募金			823,819				823,819			
緊急援助基金				31,474,001			31,474,001			
グローバル・センター 運営管理費			305,652,241	32,407,838			338,060,079			
前年度終了事業等にかかる精算額・補填額			- 45,209,695	- 6,064,355	42,660,019		- 8,614,031			
為替換算調整額			442				442			
海外支援事業費合計			¥2,304,317,196	¥277,455,398	¥ 930,108,905		¥3,511,881,499	5,198,120 人	96,450 人	
国内支援										
日本		東日本大震災緊急復興支援事業		3,110,008			3,110,008	203		
		熊本地震緊急支援事業		50,677,677			50,677,677	16,435		
総合計							¥3,565,669,184	5,214,758 人	96,450 人	

ワールド・ビジョンは、世界最大規模の国際 NGO です

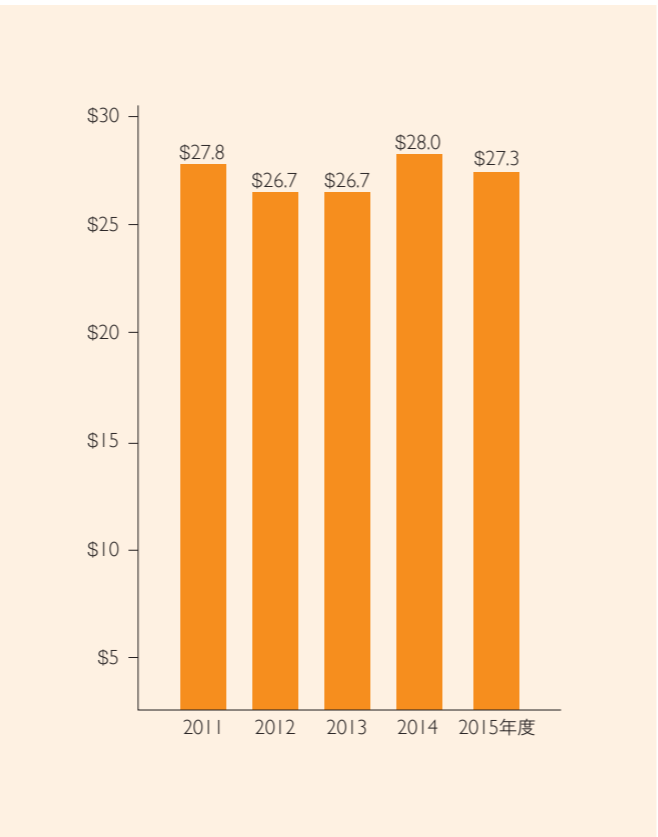
ワールド・ビジョンの始まり

ワールド・ビジョンの活動は、アメリカ生まれのキリスト教宣教師ボブ・ピアスによって始められました。第二次世界大戦後、混乱をきわめた中国に渡ったボブ・ピアスは、「すべての人々に‘何もかも’はできなくとも、誰かに‘何か’はできる」と考えるようになりました。中国で出会った一人の少女の支援を始めた彼は、より多くの支援を届けるため、1950 年 9 月、アメリカのオレゴン州で「ワールド・ビジョン」を設立。朝鮮戦争によって両親を亡くした子どもたち、夫を亡くした女性たち、ハンセン病や結核患者に救いの手をさしのべることから始まり、現在は世界の子どものために、「開発援助」「緊急人道支援」「アドボカシー」の 3 つを柱に、約 100 カ国で活動しています。



ワールド・ビジョン創設者
ボブ・ピアス

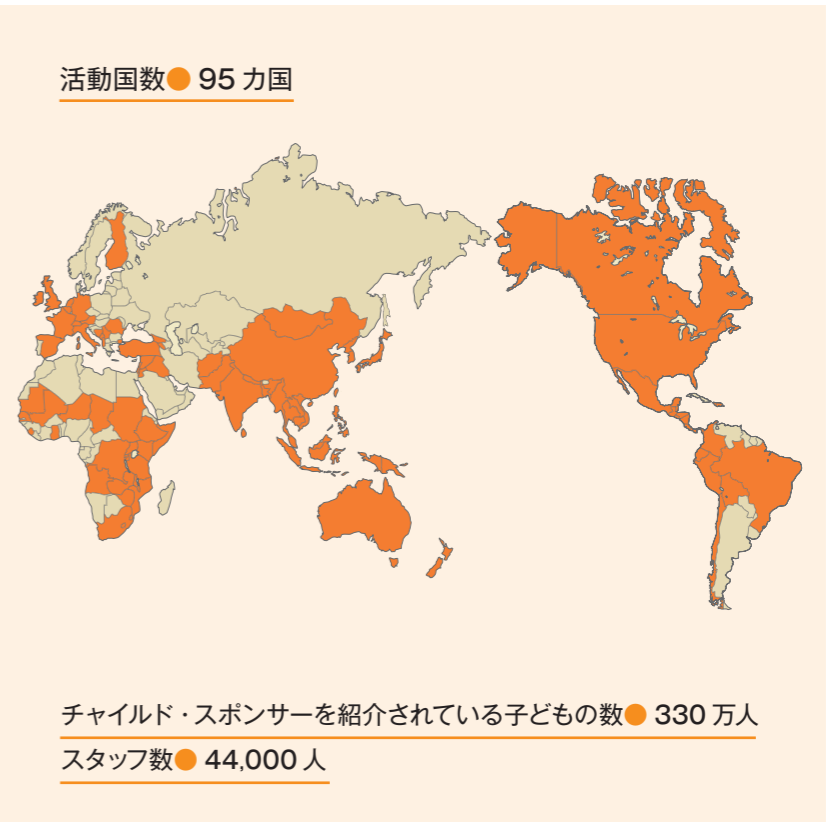
ワールド・ビジョン全体の収入推移 (億米ドル)



組織と運営

ワールド・ビジョン・パートナーシップにおいて、日本を含む支援国では、各国で独自に総会・理事会を持ち、その国のワールド・ビジョンの運営に関する責任を負っています。通常は、総会・理事会のもとに事務局が置かれ、実際の運営を行います。最終的な責任はその国の総会・理事会が持っています。ワールド・ビジョン全体に関わる方針や事業計画、予算等については、各地域から選出された理事で構成される国際理事会で決定されます。このほか国際理事会では、新たに活動を始める国や活動を終了する国の承認も行います。国際理事会のもと、ワールド・ビジョン・パートナーシップ事務局が、各国・各地域間の調整業務や技術的サポートを行っています。

ワールド・ビジョン パートナーシップ活動データ (2015 年実績)



活動国リスト

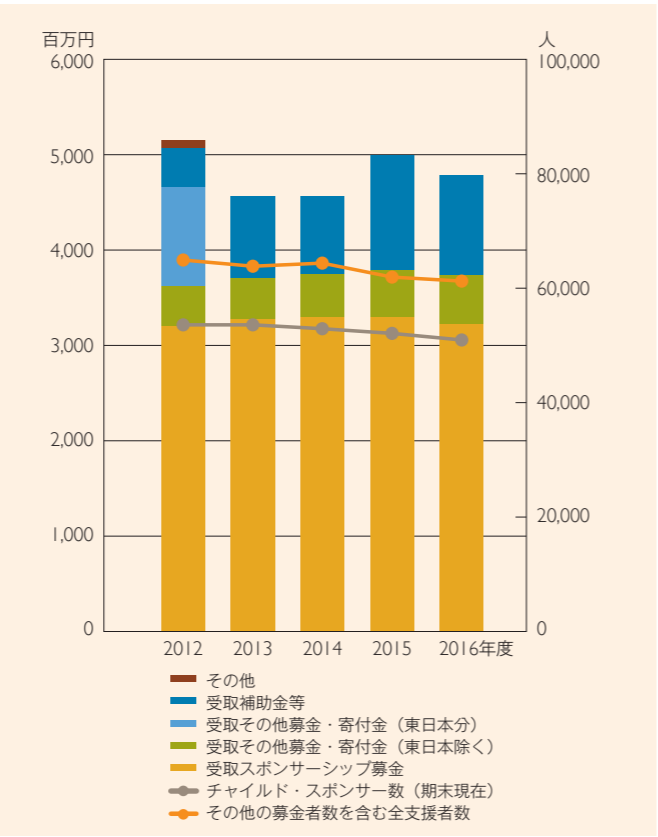
- アジア
 - インド
 - インドネシア
 - 韓国
 - カンボジア
 - 北朝鮮
 - シンガポール
 - スリランカ
 - タイ
 - 台湾
 - 中国 (香港含む)
 - 日本
- ネパール
- バングラデシュ
- 東ティモール
- フィリピン
- ベトナム
- マレーシア
- ミャンマー
- モンゴル
- ラオス
- アフリカ
 - アンゴラ
 - ウガンダ
 - エチオピア
 - ガーナ
 - ケニア
 - コンゴ民主共和国
 - ザンビア
 - シエラレオネ
 - ジンバブエ
 - スーダン
 - スワジランド
 - セネガル
 - ソマリア
 - タンザニア
 - チャド
 - ニジェール
 - ブルンジ
 - マラウイ
 - マリ
 - 南アフリカ
 - 南スーダン
 - モーリタニア
 - モザンビーク
 - ルワンダ
 - レソト
 - 中南米
 - エクアドル
 - エルサルバドル
 - グアテマラ
 - コスタリカ
 - コロンビア
 - チリ
 - ドミニカ共和国
 - ニカラグア
 - ハイチ
 - パナマ
 - ブラジル
 - ペルー
 - ボリビア
 - ホンジュラス
 - メキシコ
 - 東欧・中東
 - アフガニスタン
 - アルバニア
 - アルメニア
 - イスラエル / パレスチナ
 - イラク
 - キプロス
 - コソボ
 - ジョージア
 - シリア
 - セルビア
 - トルコ
 - パキスタン
 - ボスニア・ヘルツェゴビナ
 - モンテネグロ
 - ヨルダン
 - ルーマニア
 - レバノン
 - ヨーロッパ
 - アイルランド
 - イギリス
 - イタリア
 - オーストラリア
 - オランダ
 - スイス
 - スペイン
 - ドイツ
 - フィンランド
 - フランス
 - ベルギー
 - 北米
 - アメリカ
 - カナダ
 - オセアニア
 - オーストラリア
 - ソロモン諸島
 - ニュージーランド
 - バヌアツ
 - バプアニューギニア

ワールド・ビジョン・ジャパンについて

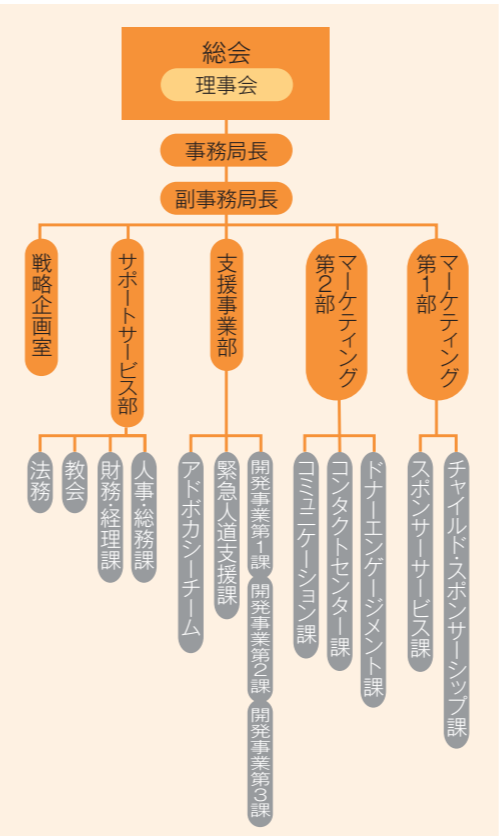
ワールド・ビジョンは 1960 年代、日本でも両親を亡くした子どもたちが生活する施設等を通じて支援活動を行いました。その後、日本の経済成長と内外の海外支援に対する気運の高まりとともに、1987 年 10 月に「ワールド・ビジョン・ジャパン」が設立され、独自の理事会を持つ組織として活動を開始しました。1999 年に特定非営利活動法人の認証を得、法人格を持つ民間援助機関としてその歩みを進めています。2002 年 5 月、国税庁より「認定 NPO 法人」に認定され、これ以降、当団体への寄付金は税制上の優遇措置を受けられるようになりました。また、その後の NPO 法改正を受け、2014 年 8 月には東京都より改めて認定されています。



経常収益の推移



組織図



役員・親善大使等 (常勤一名を除き無給です)

特別顧問理事	羽鳥 明 (一般財団法人太平洋放送協会顧問)
名誉会長	峯野龍弘 (ウェスレアン・ホーリネス教団淀橋教会牧師)
理事長	榊原 寛 (お茶の水クリスチャンセンター副理事長)
副理事長	飯島延浩 (山崎製パン株式会社代表取締役社長)
理事	新川代利子 (ウェスレアン・ホーリネス神学院助教授)
理事	安 西 愈 (弁護士)
理事	小西孝蔵 (前農林中央金庫常任監事)
理事	日暮道生 (栄香料株式会社取締役会長)
理事	三木晴雄 (玉の肌石鹸株式会社代表取締役会長)
理事	湊 晶 子 (広島女学院院長・学長)
監事	中島秀一 (日本イエス・キリスト教団荻窪栄光教会牧師)
監事	吉 持 章 (スウェーデン同盟キリスト教団 (いのちのことば社) 理事長)
常務執行役員	片山信彦 (特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン事務局長*)
	*2017 年 3 月に退任予定。同 4 月から木内真理子 (現副事務局長) が就任予定
親善大使	ジュディ・オング (女優・歌手・木版画家)
親善大使	酒井美紀 (女優)